

国連環境計画(UNEP)連携協調事業

本市には、長年にわたり環境問題への取組で培われた経験と優れた環境技術力がありますが、国際的な知名度が低く、貴重な経験が埋もれています。そこで、国際的なネットワークを持ち、地球規模の環境問題に取り組んでいる国連環境計画(UNEP)と連携して、高いポテンシャルを有する川崎地域から、広く内外に向けての情報提供などで国際貢献することによって、持続可能な社会形成に寄与することを目的としています。

UNEPとの連携の経過

本市と国連環境計画(UNEP)との関係は、2003年10月に阿部市長と当時のUNEP事務局長クラウス・トッファー氏が東京で会談したことに始まります。

- 2004年6月 UNEP主催「都市と産業の共生に向けて - 環境技術と持続可能な都市政策の国際シンポジウム」を開催しました。
- 2004年12月 UNEPの調査団が、臨海部の取組の視察のために本市を訪問しました。
- 2005年1月 第1回「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を開催しました。



2005年10月



エコプロダクツ国際展同時開催の「アジア太平洋地域における環境上持続可能な産業開発とエコタウン構想」会議において国際環境施策参加の加藤三郎氏が本市のエコタウンについての取組を紹介しました。(タイ・バンコク)

2006年1月



第2回「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を開催しました。
メインテーマ「都市と産業の共生に向けて」
参加総数：480名(うち、海外からは、10カ国16名)

2006年2月



国連グローバルコンパクトに国内の都市として初めて本市が参加しました。
グローバルコンパクトとは：国連のアナン事務総長が1999年1月スイスのダボスで開催された世界経済フォーラムにおいて提唱した企業の自主行動原則。人権、労働、環境、腐敗防止の4分野で世界的に確立された10原則を支持し、実践するよう努めるプログラムで、近年都市の参加も増えています。

2006年9月



第1回「UNEPアジア・太平洋エコタウンプロジェクト川崎研修会」を開催しました。
参加都市：マレーシア・ペナン市、インドネシア・バンドン市、インド・ブネー市